

# アフリカと日本を比べ、 答えのない問題を考える

氏名：千島 真未

学校名：宮城県石巻西高等学校

担当教科：地理歴史科(地理)

実践教科：地理探求

時間数：6 時間

対象学年：3 学年

人数：15 名（地理選択者）

## 【実践概要】

【1】 単元（活動）名：アフリカ		
【2】 単元目標： ○アフリカと日本の違いを考え、経済的な指標ではなく、様々な視点から人の生活や文化を考える。 ○答えのない問題に取り組み、自分と他人の見方・考え方の多様性に気づく。  関連する学習指導要領上の目標： 現代世界の諸地域を多方面・多角的に考察し、各地域の多様な特色や課題を理解させるとともに、現代世界を地誌的に考察する方法を身に付けさせる。また、現代世界における日本や世界の国々について、多面的・多角的に考察し、我が国が抱える地理的な諸課題を探究し、その解決の方向性や将来の国土の在り方などについて展望させる。		
【3】 単元の 評価規準	①関心・意欲・態度	答えのない問題に対して、自分の意見と他人に意見を交えながら、自ら課題を見つけ、答えを導きだそうとする態度がみられる。
	②思考力、判断力、 表現力等	話し合いの中で、自分の意見を伝えるとともに、他人の意見を聞き、活発な言語活動を行っている。
	③知識・理解	授業で得た知識や他教科で学んだ内容を結びつけて考えることができる。

<p><b>【4】</b></p> <p>単元設定の理由・単元の意義(児童/生徒観、教材観、指導観)</p>	<p><b>【単元設定の理由】</b></p> <p>日頃の授業では、日常生活と勉強内容のつながりを意識している。教科指導は、ただ暗記するだけの勉強ではなく、実際に世界と繋がっているということを感じるためにも、今回の研修の経験を教科指導の中で生徒に伝えたいと考え、地理の授業で実施した。</p> <p><b>【単元の意義】</b></p> <p>本単元では、アフリカについて地形・気候・文化・歴史・農業・鉱工業などあらゆる視点から学ぶ。多くの人々がアフリカへのイメージは「テロや内戦が続く危険地域」や「貧しく飢餓にあえぐ貧困地域」というものである。日本とアフリカの国々の1人あたりのGNI（国民総生産）を比べてみると、アフリカの中で最も高いセーシェル（15,410ドル）は日本の約半分、最も低いソマリア（88ドル）は、400分の1以下となっており、経済的に豊かであるとは言い難い。さらに、最貧国の基準とされる一人あたりのGNIが3年間平均で、年間750ドル以下に該当する国が54カ国中20カ国である。一方で、各国の成長も進んでおり、私たちのイメージするアフリカと実際のアフリカとのズレも生じてきている。なんとなくもっている「貧しい」や「かわいそう」というイメージではなく、地形や気候、歴史などを通して、客観的に捉える力や今後のアフリカの展望、そのために日本ができること、さらには日本が学ぶべきことを考える。また、「貧しい」や「かわいそう」という印象は、経済的な指標から見た点に過ぎず、あらゆる角度からアフリカをとらえる機会とする。</p> <p><b>【児童／生徒観】</b></p> <p>2年生から引き続き地理を選択した男子6名、女子9名の生徒たちであり、社会と教科学習の繋がりを考え、地理を楽しみながら取り組んでいる印象である。授業に関するアンケートでは、「世界のことを知るのが楽しい」や「現実世界と学んだ知識が結びつくため役に立つ」という生徒がいる一方で、今後必要になるのは「自ら考える力」と答える生徒が多く、知識だけでなく、それを活用する力を身につけていきたいと考えている生徒が多いということがわかった。また、授業の形態も教員がただ板書をし、話を聞く授業を好まない生徒がほとんどで、グループワークやディベートを通して、自ら考え、その考えを共有するような授業を望んでいる。2学年から継続して選択している生徒であり、生徒同士も打ち解けていて、気後れせずに自らの意見や考えを発表できる生徒が多い。</p> <p><b>【指導観】</b></p> <p>2学年では系統地理について一通り学習しており、世界的な視点での地形や気候については学習済みである。そのため、系統地理的に学習してきた内容をアフリカに焦点を絞り、まとめていく。地形や気候と結びつけて教えることで、知識が連鎖することを伝える。また、既習事項も多いため、常に生徒へ質問を投げかけ、生徒が発言しやすい環境作りを心掛けるとともに、知識の習得だけを目的とするのではなく、得た知識によって、生徒自身の思考が深まるように働きかけていきたい。すべてを丁寧に教えるのではなく、生徒が課題や疑問を見つけて、その課題や疑問に対する解決策を生徒自身が考える力や、自分の考えを伝える時間を設定することで世の中には答えのない問題が多くあり、それに対して自分の意見を持つことの重要性や人はそれぞれ違う考え方を持っていることを理解し、受容する力を身につける時間としたい。</p>
--	--

<p><b>【5】 単元計画（全6時間）</b></p>			
時	『小単元名』 学習のねらい	学習活動	資料など
1	『アフリカの自然環境』 地形や気候を知ること、アフリカ地域の特徴について知り、客観的な事実に基づいてアフリカについて考える。	<p><b>【地形】</b></p> <p>アフリカ地域は安定陸塊の台地状の大陸であることを伝え、プリントの白地図に北部のアトラス山脈、南部のドラケンスバーグ山脈、東部のアフリカ大地溝帯を書き込み、アフリカ地域の地形的特徴をとらえる。</p>	<p>教科書：二宮書院『新編 詳解地理B』</p> <p>地図帳：帝国書院『新詳高等地図』</p>

	<p>アフリカの気候分布について、その原因を振り返る。</p> <p>自然的境界によって文化に違いがみられることを知る。</p>	<p>【気候】 白地図中に赤道、回帰線、北緯 35 度・南緯 35 度を書き込ませることで、アフリカ大陸は赤道を挟んでほぼ線対称になっていることを気づかせる。</p> <p>→大きな山脈がないため、気候帯もほぼ対称形に分布することも伝え、サハラ砂漠・カラハリ砂漠・ナミブ砂漠の位置と砂漠化の要因を確認する。</p> <p>サハラ砂漠により、アフリカ大陸が南北に分けられている事、サハラ以北の地域と南部の地域では文化の違いがあることを伝え、それぞれの文化について学ぶ。また、アフリカ地域の歴史を振り返り、アフリカの文化には植民地支配を受けた影響が今でも残っていることを理解する。</p>	
<p>2 ～3</p>	<p>『アフリカの産業』</p> <p>世界の同年代の学生が感じる世界と日本の世界の違いと共通点を感じ、それぞれの文化を尊重する態度を養う。</p> <div data-bbox="212 1151 651 1480" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="256 1487 588 1561" data-label="Caption"> <p>桜と富士山</p> </div> <div data-bbox="711 1158 1150 1487" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="748 1494 1080 1568" data-label="Caption"> <p>山と川と水田</p> </div> <div data-bbox="183 1624 689 1910" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="252 1921 646 1995" data-label="Caption"> <p>コーラヒル中等学校の生徒</p> </div> <div data-bbox="703 1630 1197 1915" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="746 1921 1141 1995" data-label="Caption"> <p>モロゴロ中等学校の生徒</p> </div>	<p>事前に生徒が描いた絵についてタンザニアの学生がタンザニアとの違いを話合う動画を見せ、日本とタンザニアの共通点や違いを知る。</p> <div data-bbox="1209 1158 1437 1223" data-label="Caption"> <p>自然をテーマに本校生徒が描いた絵</p> </div> <div data-bbox="1209 1641 1437 1742" data-label="Caption"> <p>その絵についてタンザニアの生徒が話し合う映像</p> </div>	

各気候帯と農業が結びつきを振り返りながら理解する。

アフリカは資源に恵まれた地域であることを知り、それらの資源が今の私たちの生活になくならないものの原料であるということを知る。

先進国と途上国の実際にある経済格差について知り、その格差には、自分たちの生活も関わっていることを知り、自分の行動を考える。

### 【農業】

伝統的に行われている農業（焼畑農業）、各気候帯に合わせて栽培されている作物（地中海性農業・オアシス農業）、植民地支配の影響を受けて行われている農業（プランテーション農業）について2年生の学習を振り返りながら、具体的にアフリカ地域ではどのような分布になっているか確認する。

### 【工業】

資源に恵まれていることをグラフから読み取る。しかし、その資源を利用して豊かになる国もあるが、資源を巡った争いに発展している地域もあるということ各国の1人あたりのGNIを比較しながら理解する。私たちの身近な電化製品にはアフリカから産出するレアメタルが使用されていることを知る。

### 【モノカルチャー経済】

農産物や地下資源などモノカルチャー経済の問題点を考察する。カカオ農園で働く子どもの映像を観て、問題の原因は自分たちにも関係していることであり、自分たちにできることはないか考える。

映像資料：  
「あいのり」ガーナ篇

1. あなたがメンバーだったらチョコレートを あげる ・ あげない

理由

チョコを食べてお金の差が出てから決める。  
食べて後悔お金は本人は貯蓄のせいでもちろぬ長くてお金の差は溜りあがる  
お金の差は必ずお金の差があるから決める

3. 全体を振り返っての感想

結局、実際に現地に行ったり、相手の立場にはならないと/お金の差は個人で決めることは限られるから、現状を改善して、お金の差を減らすと良い。願望は、みんなでお金を減らすこと。

1. あなたがメンバーだったらチョコレートを あげる ・ あげない

理由

今の状況で食べても何にもならないと思ふ。  
貿易が不公平で苦しい状況のままで食べるよりも、これから日本含め先進国が改善を重ねて体制を整えて、その国の人たちが少しでも報われて、チョコが入るようになって食べる方が良いと思う。より幸せを感じられる。

3. 全体を振り返っての感想

あげるとあげないかでこんなに悩むものな気がした。貿易が不公平であることは知っていたけど、それをもっと状況を考えたこともなかった。今回、授業で考えることまで良かった。原材料の生産国がどうなっているか、自分達がどうにかしていかねばならない問題だなと思った。



**【6】 本時の展開（6 時間目）**

本時のねらい：

- ① タンザニアと日本のちがいを考え、経済的指標だけではなく、多方面から物事をとらえる視野をもつ。
- ② 答えのない問題について考えることで、自分と他人の見方・考え方の多様性に気づく時間とする

過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5分)	<p><b>1 本時の学習課題を知る。</b></p>	<p>・今回取り組むワークは答えのない問題であることを伝え、自分がどう感じたのかを素直に答えるように伝える。</p>	
展開1 (20分)	<p><b>2 アイスブレイク (5分)</b> 「通学時間が長い順に並ぶ」 着席した席により、5つのグループをつくる。</p>	<p>通学距離が短い方から、「リーダー」「書記」「発表者」の役割をすることを伝える。</p>	
		<p>◎リーダー ：話し合いのまとめ役</p> <p>○書記 ：グループでの話し合いをワークシートにまとめる</p> <p>●発表者 ：自分だけの意見ではなく、グループ全体の意見を発表する。</p>	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>1 番近い生徒は 10 分 一 番遠い生徒は 1 時間 10 分でした!</p> </div>		

展開2  
(20分)

日本とタンザニアのちがいのちがいを考えよう！

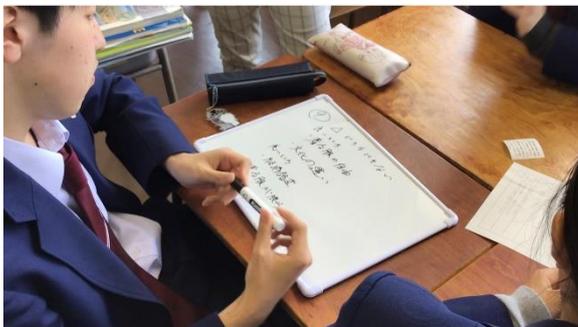
3 各グループにちがいのちがいカードを配布し、各班であってよいちがいかあってはいけないちがいかまた、どちらともいえないちがいを話合う。(15分)

○書記は、話し合いの内容をワークシートにまとめる。



4 一番盛り上がったカードをあげ、どのような話し合いがなされたのか、グループの意見をまとめる。(5分)

◎リーダーがとりまとめ、○書記がホワイトボードに記入する。



・「なんとなく」や「あってはいけないから」など抽象的な理由ではなく、明確な理由をつけてグループの答えを考えるように指示をする。

ちがいのちがいカード

・一番盛り上がったカードは、あってもよいちがいで、あってもいけないちがいで、どちらともいえないちがいで構わないことを伝える。

・ホワイトボードを配布し、一番盛り上がった内容の番号と、その理由を簡単に記入する。  
・自分のグループとの考え方のちがいをワークシートに記入する

## 5 各グループで盛り上がったカードとその理由を発表する（10分）

●発表者は、その場に立ち発表を行う。



決めかねて、2つのテーマを選んだ班も！  
 1班：5（医療）・9（衣服）…どちらともいえない  
 2班：3（最高峰）…あっても良い。  
 特別参加：9（衣服）…あってはいけないところも、  
 どちらともいえないところも…  
 3班：9（衣服）…どちらともいえない。  
 4班：10（体罰）…どちらともいえない。文化？

まとめ  
 (10分)

## 6 振り返りシートに感想を記入

・グループワーク、発表を通して感じたこと、気づいたことを記入。

地理探究 ワークシート 1 班

ちがいのちがいの  
 あってほしいが…○、あってはいいが…×、どちらともいえないもの…△を書き込みましょう。

	理由
1	<input type="radio"/> 文化や伝統的行事の存在から。
2	<input checked="" type="checkbox"/> 勉強の環境に差があるから。
3	<input type="radio"/> 地形的・人的問題から。
4	<input type="radio"/> 気候の違いから。
5	<input type="checkbox"/> 学習性が低い。
6	<input type="checkbox"/> 日本的にはいいけど、アジアは不利。
7	<input type="radio"/> 将来の上下下から。
8	<input type="radio"/> 宗教的・人的問題から。
9	<input type="radio"/> 着る自由は自由。
10	<input checked="" type="checkbox"/> 頭ごねから… 頭ごねから… 頭ごねから…

地理探究 ワークシート 2 班

ちがいのちがいの  
 あってほしいが…○、あってはいいが…×、どちらともいえないもの…△を書き込みましょう。

	理由
1	<input type="radio"/> 文化の違いから。
2	<input checked="" type="checkbox"/> 可なり学習の習慣 / 学習環境から
3	<input type="radio"/> どの国も同じから。
4	<input type="radio"/> 文化の違いから。
5	<input type="checkbox"/> 宗教や文化、法律の違いから、命にかかってくるから。
6	<input type="checkbox"/> コスプレ…、歴史国の違いから、 歴史国の違いから。
7	<input type="radio"/> 文化、言語、習慣が異なるから。
8	<input type="checkbox"/> 経済や、国の違い、 日本の経済や、 日本の経済や、
9	<input type="checkbox"/> 服装の自由、 服装の自由、
10	<input checked="" type="checkbox"/> 上下関係から体罰

ちがいのちがい 地理探究 ワークシート 3 番

あてはまらない...○、あてはならない...×、どちらでもない...△を書き込みよ。

1	理由
○	条件が違いすぎる
×	設備の差は大きくないといけない
○	そのよせのせりから
○	気候の違いだから
×	医療・衛生面の差は問題点だから
△	選挙の自由がけと、トヨタで仕事をしているのは問題点
○	公用車の違いだから
○	言葉の違いだから
△	経済発展の問題になりすぎる 雇用は自由だけど、限られてしまうので 世界的に差別は良くないから
×	

ちがいのちがい 地理探究 ワークシート 4 番

あてはまらない...○、あてはならない...×、どちらでもない...△を書き込みよ。

1	理由
○	土地の文化が学ばずにはアフリカ
×	この設備を学ぶための
○	分らないから
○	水を飲む文化が
△	
△	
○	英語は世界的に便利だから
△	国に比べて発展の遅いからだから
○	アフリカには発展が早い国があるから
△	文化の違いと、国から発展が早いから

【7】 評価規準に基づく本時の評価方法

- ・グループワークの中で自分の役割を理解し、それぞれの役割を果たそうとする態度がみられる。  
(関心・意欲・態度)
- ・話し合いの中で自分が考えたこと、グループの中でまとめたこと、他人の意見を聞き考えたことをワークシートに記入することができる。(思考・判断・表現)

【8】 学習方法及び外部との連携

地理探究の授業の中では、ただの暗記知識ではない「活きた知識」の習得を目指している。今回のタンザニア研修を通して主眼においたのは、タンザニアに行ったことによる特別授業を行うのではなく、日頃の授業の中で実施するという点である。また、アフリカの実態を伝えるとともに、私たちの生活もアフリカ地域の影響を受けて成立していること、上から目線で貧しくてかわいそうな地域という考えはなくしていきたいと考えていた。そのため、アフリカ地域の基礎知識を学ぶとともに、その学んだ事柄を日本と比べることで、それぞれの文化の尊さや、それぞれの改善点を見つけてほしいと考え、授業のまとめとして「ちがいのちがい」を実施した。生徒からは「楽しかった」や「今までとは違う視点でみる事ができた」など好意的な意見をもらう事ができた。

【9】 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

今回の授業は、本校で今年から始まった「学びフォーラム」の中の1コマとして実施し、地理を教える先生方や東松島市役所の方、他県から視察に来られた先生など多くの人に見てもらう事ができた。日頃、学校の中で国際理解教育に触れる機会は少ない。他国を知ることだけが国際理解なのではなく、生徒や教員が世界規模の問題に対して当事者意識をもって取り組んでいかなければならないと考える。各教科の視点から考える世界規模の課題について考え、教科横断的な指導を行うための研修会等を開催したいと心から感じる。

【自己評価】

<p>【10】 苦勞した点</p>	<p>タンザニアへ行き、様々なものを見ることができたが、見ることでできたことはタンザニアやアフリカのほんの一部の姿であり、生徒にどのように伝えてよいかを悩んだ。答えのない問題に対する答えは、生徒自身が考えて自分の答えを見つけ出すものであり、授業者としてどのように授業の展開をするか、どのように授業をまとめるかなど、授業の道筋を考えるのに苦勞した。授業では、生徒が考えることを重視し、自分自身はあまり口を挟まないように気を付けたが、中には事実を誤認していたり、本時において「3 日本の最高峰は富士山であるが、タンザニアの最高峰はキリマンジャロである」など比較的答えが出しやすくと想定していた問いに対して、「日本の富士山と同じ高さになるには、キリマンジャロをいかに削るか」という話し合いをするグループもあり、想定外の行動への対応も難しかった。また、事後研修で「なぜ、キリマンジャロを富士山よりも低くする必要があるのか。そこを掘り下げれば、新たな気づきがあったかもしれない」とアドバイスをいただき、自分自身の経験不足を感じた。実践した授業も答えのない問題であり、自分の中での満足できる内容であったか、自分の中でのゴール設定の難しさがあった。1回で全てを伝えようとするのは、無理があるのも分かっているつもりだが、自分の中でなかなか割り切ることができずに、どうすれば伝えられるか最後まで答えを見つけることは出来なかった。</p>
<p>【11】 改善点</p>	<p>できるのであれば、カードを1つ1つ振り返る必要があったと感じた。今回のテーマは文化・教育・自然環境・食・医療・工業・言語・宗教・衣服などあらゆる面から日本とタンザニアの違いを比べるように設定した。テーマを広く設定したため、思考が広がりすぎたと感じる場面があったので、生徒の実態に合わせたテーマにしぼった教材にしてもよかったと感じる。状況に応じて変形して使用することができる。また、その中で、身近なテーマ設定を意識したため、固有名詞を使用した。生徒の中には具体的に教員や生徒をイメージしてしまい、アクティビティに集中できていないところもあるようであった。生徒と共に授業をつくり上げていくイメージを持つ必要があったように思う。</p>
<p>【12】 成果が出た点</p>	<p>生徒の感想は、楽しんで取り組むことができたというものが多かった。また、生徒たちが日本とタンザニアについて話し合い、それぞれの意見を自由に表現している姿を見ることができたことが成果の1つである。さらに、今回の授業の感想ではなく、2年間実施された地理の授業を振り返った時に、先進国と発展途上国の関係に疑問を感じている生徒が多くいた。私たちの不自由な生活の裏には、途上国で不自由に生活している人々の存在があることを理解するとともに、文化面を尊重する気持ちをもつ生徒がいたことも1つの成果であった。タンザニアを含めた途上国をただ「可哀そうな国」として捉えるのではなく、これから協力し合いながら、ともにより良い世界をつくり上げる存在として考える生徒が出てきたこと、自分たちの不自由な生活は、当たり前なものではないと感じたと答えてくれた生徒、何ができるかわからないけど、小さいところからでも自分から行動していきたいと答えた生徒、アフリカを含めた外の世界を見てみたいと答える生徒など、生徒たちの中に世界に目を向けるという行動の種を植えることができたのではないかと感じて</p>

いる。

【13】 学びの軌跡  
(児童生徒の反  
応、感想文、作文、  
ノートなど)

1. 自分が一番ひっかかった題とその理由
2. グループで盛り上がった題とその理由
3. 他の班に発表を聞いて、気づいたこと・感じたこと
4. 感想

ちがいのちがい

1. 自分が一番ひっかかった題とその理由を答えなさい。

5 医療行為の違い  
タンザニアでは人が足らずに看護師もやることがあるのだから  
日本では禁止されているから。

2. グループの中で盛り上がった題とその理由を答えなさい。

10 教育のレベルの違い  
日本から見るとレベルに差があるけどタンザニアではそれをしつづけて  
いっているようだから。

3. 他の班の発表を聞いて、気づいたこと・感じたことをまとめなさい。

どの国でも文化の違いや、経済的に発展していないから  
などの理由が多々あると思った。その国の文化を尊重することは  
大事だと思うけど、尊重は文化を尊重するのはどうなのだろう  
と思う文化があるように感じた。

4. 感想

・タンザニアと日本ではこんなにも文化の違いがあると感じられた。  
お互いの国の文化を知ることや、海外旅行に行った時に、その国  
ではこれをしたらいけないんだなと学んだことが多かった。

ちがいのちがい

1. 自分が一番ひっかかった題とその理由を答えなさい。

5 医療行為はできるなら、医者や看護師に  
任せてあげたい。タンザニアの場合、十分な医療行為を  
行なうことができない環境におかれています。そのため、その  
国の人々の考えや文化を尊重して、治療をしない  
のも一つの方法だと思います。

2. グループの中で盛り上がった題とその理由を答えなさい。

9 タンザニアの人々が着るものは文化や伝統的なものだ  
と思うし、日本人もユエフロを着ることがありますが、それは  
良いと思いましたが、もし、タンザニアの人々が着ることが  
できるならユエフロと似たような服を着たいという人が結構  
多かった。

3. 他の班の発表を聞いて、気づいたこと・感じたことをまとめなさい。

みんな考えることは結構似ているなと思った。

4. 感想

改めてこのような問題を話し合えることがとてもいいな  
と思いました。文化の違いからといって、自分本位の考えを  
押し付けて決めつけるのは間違っていると気付かされました。  
このような問題についてみんなから色々な意見が出てきて、それについて  
話し合えるという機会はとても貴重だと思います。

ちがいのちがい

1. 自分が一番ひっかかった題とその理由を答えなさい。

5 信用性も安全性もないけど、医師が少なくして、  
看護師が医療行為をしなくてはならない環境  
になったら仕方ないと思う

2. グループの中で盛り上がった題とその理由を答えなさい。

9 着る服は自由だけど、オーダーメイドの服を  
着ていて着ていられない人はたまたま問題か  
あると思う

3. 他の班の発表を聞いて、気づいたこと・感じたことをまとめなさい。

みんな考えていることは似ていた

4. 感想

どっちにもいい問題がたまたまあって難しかった  
。どの問題もすべて文化や宗教や環境のせいにしてそれと  
で済ませるのは難しい

ちがいのちがい

1. 自分が一番ひっかかった題とその理由を答えなさい。

6 タンザニアの車がなぜトヨタが多いのか、  
その原因はたまたま社会的な問題があるのか、  
これは、あってもいい違いなのかなと思った。

2. グループの中で盛り上がった題とその理由を答えなさい。

9 服が限られてくるというのが経済の速い国の  
違い。でも、文化や伝統を守るための違い  
に違いがあるから、別にいい。

3. 他の班の発表を聞いて、気づいたこと・感じたことをまとめなさい。

5 1班、  
衛生の問題もトピックにあるなと思った。  
これは、先進国の国が必ず必要なのかなと思った。

4. 感想

経済的発展、環境の差というところの違いは、  
このようにして、先進国の間でちゃんと話し合う  
必要があるのかなと思った。  
自分も、文化の違いを感じているために、みんなの国に  
対して話したいと思った。

【14】 授業者による自由記述	<p>自分の中で答えが分からなくなっていた部分も多くあり、悩みながらの教材作りであった。しかし、その中で出た私なりの1つの答えは、この授業は本研修に参加したまとめの授業ではなく、これをきっかけとして国際理解教育に取り組むステップであるということであり、ここからがはじまりのような気がした。私自身まだまだ知ることのできていない部分が多くあり、多くの経験を積み、多くの人と関わり合い、広い視野を身につけていきたいと感じている。そうして自分の満足できる授業がつくられていくのではないかと予感している。</p> <p>また、今回ともに研修を受けたチームタンザニアと過ごした時間はかけがえのないものであった。この研修に参加していなければ出会うことのなかった素敵な先生方と共有した時間は本当に刺激的で、様々な視点や考え方に気づくことができた。タンザニアへ行き、途上国の実態を知ることがこの研修に参加した最大の目的であったが、研修を振り返ってみると、タンザニアの滞在は研修の一部であり、事前研修・事後研修すべてが学びの場であった。このような充実した時間をともに過ごしたチームタンザニアやチャンス을 くださった JICA 東北の方々には感謝の気持ちでいっぱいである。</p>
-----------------	---

参考資料：

- ・ 2018 年度教師海外研修報告書
- ・ 『開発教育ハンドブック [改訂版]』 特定非営利活動法人 開発教育会 DEAR
- ・ YouTube 「次々飛び立つドローンが血液を配送、命を救う ルワンダ」

(<https://www.youtube.com/watch?v=qlrnNpskbXk>)

【資料1】 ちがいのちがいカード

<p>1 ジャックリンは料理をする時にカンガを着るが、裕子さんは割烹着を着る。</p>	<p>2 タンザニアのモロゴロ中等学校の教室に電気は設置されていないが、石巻西高校の教室にはすべて電気がついている。</p>	<p>3 日本の最高峰は富士山であるが、タンザニアの最高峰はキリマンジャロである。</p>
<p>4 4月になると日本では桜を見ながらお花見を楽しむが、タンザニアではマンゴーが実るので、木からもぎ取って食べる。</p>	<p>5 タンザニアの看護師シルマさんは、緊急の場合は医療行為を行うが、日本の看護師の久美さんは、医療行為を行うことはできない。</p>	<p>6 日本では、多種多様な自動車メーカーの車が走っているが、タンザニアの車はほとんどがトヨタである。</p>
<p>7 日本ではほとんどの授業が日本語で行われるが、タンザニアでは中等学校から英語で授業が行われる。</p>	<p>8 タンザニアでは、毎朝5時頃になると街中にアザーン（礼拝の呼びかけ）が流れるが、東松島市の防災無線で般若心経を流すことは禁止されている。</p>	<p>9 石巻西高で地理を教える千島先生の服は9割がユニクロ製品であるが、タンザニアのコーラヒル中等学校で歴史を教えるフローレンス先生の服は、ほとんどがオーダーメイドである。</p>
<p>10 宿題を忘れた千尋くんは、千島先生から長い説教を受けたが、同じく宿題を忘れたジョナスさんは、ムチで3回叩かれたが一瞬で終わった。</p>		